

専修学校 各種学校 リカレント教育研究会

専修学校各種学校リカレント教育研究会の取組

人生100年時代においては、個々人が職業生活において必要となる能力・スキルを身につける機会が提供されることが重要視されます。リカレント教育・職業教育の抜本的拡充を目的に、リカレント教育を展開し、修了生が就業を通じ地域で活躍することにより、専修学校等におけるリカレント教育の定着を図ります。

今年度は昨年の研究成果を踏まえ、新たに兵庫各HPで「専門学校リカレント教育講座」紹介コーナー（試行版）を新設。また医療保険制度分野や登録販売者・調剤事務分野の短期のプログラムを想定したモデルプログラムを行うなど、主に若者、壮年、子育て世代等の無業の者など多様な人材が専修学校各種学校のリカレント教育を通じて意欲の向上やスキルの修得を図り、企業の雇用など職業生活（アルバイトを含む）の人材育成につながるプログラムの開発、実施の機運の醸成を図ります。

2年度、3年度の取組

- 2年度
 - ・講演会「企業におけるリカレント教育の現状について」中田光佐子氏
 - ・県内専門学校と企業との意見交換会の開催等
 - ①リカレントで学ぶ調理業界の人材育成、②建設業界・自動車整備業界のリカレント教育の可能性、③医療・福祉職場に多様な人材流入を目指す、④組織に適応するためのスキルの獲得 など
- 3年度
 - ・講演会「専修学校リカレント教育実施のポイントと定着に向けて」（久保寺さつき氏）「スクールカウンセラーから見た子ども・保護者・学校」（中村経子氏）
 - ・専門学校リカレント教育モデル講座の実施
 - 調理製菓分野（神戸国際調理製菓専門学校）
 - 介護福祉分野（神戸リハビリテーション福祉専門学校） など



公益社団法人 兵庫県専修学校各種学校連合会とは

- 兵庫県の専修学校・各種学校の振興、教職員の資質と福祉の向上を図ります。
- 県内の職業教育、生涯教育の充実など県民の知識・技術・文化の向上を図り、より良い地域づくりに貢献します。

（会員校）専修学校65校 各種学校14校 計79校
（県内の専修学校各種学校の学生）専修学校78校 17,943人
各種学校38校 6,744人 計116校 24,687人

今年度の取組

- リカレント教育モデル講座
 - ①調理製菓・飲食分野
 - ②介護福祉分野
 - ③医療保険制度分野
 - ④登録販売者・調剤事務分野
- 県内専門学校と企業との意見交換会
 - ①介護福祉分野
 - ②医療保険制度分野

TOPICS

リカレントの学びをマッチングする兵専各ホームページを新設



▲ 兵庫県専修学校各種学校連合会 トップページ

兵庫県専修学校各種学校連合会のHP内に、社会人対象の「リカレント教育講座」を紹介するページを新設しました。講座を実施する会員校のHPにリンクし、会員校のリカレント講座を紹介。会員校のHPからの申込を誘引します。兵庫県ホームページからもリンクしていただき、学びを求める方々が教育講座の情報にアクセスしやすくなりました。（例：SDGs関連の調理講座）



▲ 専門学校リカレント教育講座一覧



兵庫県ホームページでも紹介されています

8月2日(火)～4日(木)開催 SDGs 食との関わりを考える(調理製菓・飲食分野) ～神戸国際調理製菓専門学校～

講座内容・日程

講座①	2022年8月2日(火) 10時～15時 アレルギー食と生活習慣病についての講義とメディカル実習
講座②	2022年8月3日(水) 10時～15時 神戸と中国の食文化についての講義と中国料理実習
講座③	2022年8月4日(木) 10時～15時 食品ロスについての講義とベジブロスとフィッシュボーンブロスを使った実習 ※ベジブロス：野菜の茎やヘタを使った出汁 フィッシュボーンブロス：魚の骨を使った出汁 (定員各20名)



慢性的な人材不足に悩まされている飲食業界での人材不足を解決するため、業界に定着できるスキルの習得や通常の調理とは違う付加価値を生み出せる人材の育成を目的とし、最低限の衛生知識と基本技術を学び、今後に必要な業界人としての心構えの修得を目指した。



- ターゲット：飲食店にアルバイトまたは就職を希望する者／現在飲食業界に従事し自身のスキルアップのために勉強する者／調理技術を取得し今後何か新しいことを始めたい者／高等学校家庭科教員
- 参加費用：1講座10,000円 2講座20,000円 3講座25,000円
- 募集方法：専門学校及び同窓会HPやSNSツールを使用し、幅広く告知。また関係団体や高等学校家庭科教員及び取引先企業、就職先企業にも案内。

モデル講座の参加者からの意見・感想

難しかったがわかり易く指導いただけて大変良かった。日頃できない体験ができた。健康を意識した食事を所々で行っていききたい。もう一度参加したいと思えるすばらしい会だった。SDGsのテーマがとても興味深かった。

2022年度実施 リカレント教育モデル講座

●調理製菓分野	日時	8/2～4、8/8～10	場所	神戸国際調理製菓専門学校	内容	講義・調理実習(SDGs関連の調理、初めてのフランス料理等)
●介護福祉分野	日時	6/3、10/3(基礎)、7/1～8/19(実践者5日)、11/1～12/19(実践者5日)、12/2～2/15(実践リーダー6日)	場所	神戸リハビリテーション福祉専門学校	内容	講義・演習(認知症介護 基礎/実践者/実践リーダー)
●医療保険制度分野	日時	1月28日	場所	愛甲学院専門学校	内容	医療保険制度講座「病院で払う医療費」
●登録販売者・調剤事務分野	プログラム開発		開発	愛甲学院専門学校		

10月3日(月)開催

県内専門学校と企業との意見交換会(介護福祉分野) ～於 神戸リハビリテーション福祉専門学校～

10月3日(月)に神戸リハビリテーション福祉専門学校にて県内専門学校と企業との意見交換会が開かれました。交換会の前に同校で実施中のリカレント教育モデル講座「認知症介護基礎研修」を見学、講座の参加者にも講座終了後に意見交換会に加わっていただきました。



学校関係代表より

■植木 砂織 氏(兵専各リカレント教育研究会実施委員会委員長)
リカレント教育はご本人と、私たち学校、そして仕事をされている業界、この3つが協力し合って作り上げていくもの。また、行政にも協力いただき作り上げていきたい。皆さんの忌憚ないご意見を賜りたい。

●リカレント教育の効果

■山本 隆司 氏(兵庫県総務部教育課)
今、社会に出てからの学び直し、リカレント教育というもの、非常に大きな注目を集めている。リカレントの効果というのは、個人にとっては新しいスキルアップに繋がり、年齢に関わらずいつでもチャレンジできるという効果。企業にとっては変化に対応できる人材を得られるという効果。そして学びの環境が根付いている地域は、その活性化を促す。兵庫県は人口流出という問題を抱えているが、リカレント教育のように学べる環境が根付いている地域となればそれが魅力となり、問題にも歯止めをかけられるのではないかと期待がある。

●介護業界におけるリカレント教育の重要性

■松原 宏樹 氏(講師 認知症介護指導者)
人材不足の介護業界において、新たな人材獲得のみならず、いかに離職防止していくかという点において、生きがいづくり、孤立の意識を抱かせず横のつながりを持たせられるように、というのがこの教育の一番大事なことではないかと感じている。介護職においては厚労省により段階的なステップアップが設定されており、継続に繋がりがやすい構造ではある。あとは社会人の方が新たに介護職を選ぶきっかけや機会を作っていく我々の側が、継続した事業にできる工夫を心がけたい。

■講座参加者より

- ・今回は施設長から勧められての受講。今日学んだことを生かしていきたい。
- ・最終的には介護福祉士のライセンス取得を念頭に置いての受講。本当に楽しい研修だった。
- ・元は全く違う仕事から介護に関わったことをきっかけに様々なことを学んで資格を取るようになった。より深く学んでいきたい。

各分野代表より

■弓川 明美 氏(医療法人社団 創生会)

医療の現場で研修を担当する立場から、まずは専門性。プラス、人間性が大切と感じる。ストレスに対して相手に寄り添いながら、広い視野を持ってベストの解決方法を見いだせる企画づくりはリカレント教育の介護の講座とも繋がる部分がある。学びを自信に繋げていただきたい。

■辻本 有希 氏(アイビーメディカル(株))

医療福祉業界の求職・転職活動のサポートをする中で、こういった研修が転職において有利に働くと感じている。これをきっかけに横の繋がりを作り、より広い視野で福祉業界のことを考えて仕事に取り組んでいただきたい。

●閉会挨拶

■福岡 壮治 氏(神戸電子専門学校 校長)

大きく異なっていた職業教育と小中高教育で「好奇心」という共通の根の部分が最近クローズアップされている。関心を持って知識や議論をアップデートしていくからこそ深い学びになる。資格ももちろん大事だが、深い学びがより脚光を浴びる時代になっていくのだと思う。本日の研修が地域を輝かせるきっかけになるのではないかと感じた。

モデル講座『認知症介護基礎研修』とは

このモデル講座「認知症介護基礎研修」は、厚労省により介護のスタートラインに位置づけられています。基礎研修→実践者研修→リーダー研修とステップアップの道があり、各都道府県に多くのリーダーを育成することを目指すものです。共通のテキスト・カリキュラム・受講ビデオがあるためオンラインでの受講が増えている中、感染症対策を講じながら、対面での貴重な受講機会として開催されました。

朝9時～17時という長丁場でしたが、ワークシートを用いての演習や対面ならではのグループディスカッションで活発な意見交換もされ、各々の知識や理解を深める場となりました。



1月28日(土)開催

リカレント委員と講座受講者との意見交換会(医療保険制度分野) ～於 愛甲学院専門学校～

1月28日(土)に愛甲学院専門学校にてリカレント委員とモデル講座受講者との意見交換会が開かれました。交換会の前に同校で実施中のリカレント教育モデル講座「病院で支払う医療費」を見学、講座の受講者からは本講座についての感想、また、今後のリカレント教育講座について貴重な意見をいただきました。



モデル講座について

■講座参加者より

●受講の理由と感想

- ・治療費などについて全く知識がなかったため、是非一度学んでみたかった。具体的な金額の計算なども教えていただけて大変ためになった。
- ・家族が医療関係なので医療費は気になっていた部分だった。いい病院のかり方は特に面白かった。
- ・学び直しというテーマに惹かれての参加。看護師をしているが、患者さんからお金のことを尋ねられた時に、ざっくりとでもスムーズに答えたいと思ったことも参加のきっかけ。
- ・家で確定申告の準備をする中で医療費の話をしていたところ、娘が講座をすすめてくれた。市民講座的なものかと思っていたら、とても実践的で知らない内容ばかりだったので、参加させていただいて良かった。

●講座への希望

- ・年金、労災などについてのクラスがあれば是非参加したい。
- ・お金についての話は幅広く聞きたいが、例えば今、遺産相続について知りたい。講座を年齢別で考えていただけると参加しやすいと思う。

●講座を知った経緯について(広報の参考として質問)

- ・リスクリング、リカレントで検索した。SNSに載っていると目につきやすく、気軽に探せるのではないかと。
- ・キーワード検索して学校を見つけられたので、実施内容でヒットしやすい具体的なキーワード、例えば「医療費が安くなる」等があると良いと思う。
- ・チラシで見かけて問い合わせた。関係する施設等の目につく所にあれば手に取ってもらいやすそう。
- ・次のステップに繋がる講座であれば、例えばハローワークにチラシを置

くとか、年齢によっては市政ニュースに載せるなど、対象者がどういった方なのかによって出しどころを変えると見てもらえそう。

●受講費負担について

- ・短期コースなら2～3,000円程度、長期なら1回の単価がもう少し安ければ参加しやすい。テキスト代を含めても5,000円となるとちょっと悩む。
- ・受講費自体は妥当だが交通費もネックになってくるので、テキスト代はかかってもネット配信でやってくれたら、という思いはある。ただ、生の講座を聴けるのはやはり貴重なので、交通費や内容にもよる。

●受けてみたい講座(興味を切り口として)

- ・ペットの急病への一時的処置
- ・パソコン思い出し復習講座
- ・人との関わり、現実的収穫と土による癒やしを求めて農業講座
- ・YouTube配信ができるようになりたい。

各委員より

■植木 砂織 氏(兵専各リカレント教育研究会実施委員会委員長)

YouTuberなど、私たちの知りたい「新しいこと」は3、4年前にはなかったこと。1日、2日でも1週間でも、私達専門学校が大学とは違って時代の流れに対応した、参加しやすいプログラムを提供できるようになりたいと強く感じた。

■西村 公男 氏(兵専各リカレント教育研究会実施委員)

大阪で農業科学専門学校をやっているが、神戸でもリカレント教育の形で農業の講座を展開できるかどうか、検討したい。

■梅村 昭男 氏(兵専各リカレント教育研究会実施委員)

色んなニーズがあるが、専門学校の一つの教育の柱は実践的な教育であるため、市民講座とは違う。まさにそこを切り口として様々な目的でリカレント講座ができる可能性を感じた。仕事を探している方が実際の業務を知る体験授業的なことや、自分の仕事の知識を広げてスキルアップに繋げる講座も開催できる。ニーズに合わせて様々な形を取れるのではないかと。

■岸本 芳宣 氏(兵専各リカレント教育研究会実施委員)

我々専門学校のリカレント委員会としても、引き続き8分野、様々な形でリカレント教育を行っていく。市民講座のように様々な研修事業はもちろん、YouTube等も使って普通の民間の事業体とは違う専門分野の話やプラスアルファを配信するなど、入り口を低くして様々な方が入りやすい形を作っていきたい。

モデル講座『病院で払う医療費』とは

この講座は、病院の窓口で支払う医療費を理解する上で必要な医療保険制度について、どのような保障(給付)があるのかを紹介し、主に企業の総務の方が従業員にアドバイスする一助となることを想定した内容となっています。

社会保険制度全般の概要および療養の給付・保険外併用療養費・高額療養費をメインに、療養費の制度がどういったものか、また、保険点数の付き方や金額計算の方法を具体的な例を挙げてわかりやすく解説、上手な病院のかかり方など、実際に役立つ(得する)情報も提供されました。

